

秋がしっとり 深まってくると、いつもの年のように「さらさら」作りが盛んになります。

おひさまの光も 流れる風も 大地のしめり気も……

みんな ちょうどいい具合なのでしょう。

それを知ってる子どもたちって いのち まるごとですね。

たくさんのものを与えてもらっていることを、集中して感じる事ができる季節に、「恵みを届けてもらい・分けてもらい 生かされていること」を感謝して、自分の中に感じるいのちの力を誰かに向けて働かせたくなります。

たいしたことはできなくても、ていねいに大切に……!



門の所の コンクリートの
小さな隙間で
ケイトウが 育っていたり
小さな木が根を張っていたり
……
すごいなあ



あきまつりに ご参加下さった おばあさまから お手紙を
いただきました。

ご自身作の便箋には

ゆうびん 優便 やさしい便り

わたしも 書きたくなりました

と、あり 「めぐめぐの森の園長宛でした。

「…… えええ？」

おおっ! ははは…… へえ……と

何度も心が踊りました」と。

また「ソフィアの皆さまにも感動でした」とお伝え下さいとのことです。

次々 うれしい恵みが届きますね。